

計画の名称	安全・安心に暮らせる生活環境づくり（防災・安全）									
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当	
交付対象	御浜町									
計画の目標	水と緑に包まれた、優れた自然環境を誇るまちとして、自然と共生する快適で安全な居住環境づくりを進めます。									
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	730	A	730	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）										0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	阿田和クリーンセンター（下水処理場）の長寿命化対策率を60%（H31）から100%（R2）に増加させる。 阿田和クリーンセンター（下水処理場）長寿命化対策率（%） 改築更新実施済設備数／改築更新対象設備数	60%	100%	100%
2	下水道施設のストックマネジメント対策による機能確保率を0%（H31）から60%（R5）に向上させる。 下水道施設ストックマネジメント対策率（%） 改築更新実施済設備数／改築更新対象設備数	0%	0%	60%
3	阿田和クリーンセンター（下水処理場）の耐水化対策による機能確保率を0%（R4）から100%（R5）に向上させる。 阿田和クリーンセンター（下水処理場）耐水化対策率（%） 耐水化実施済施設数／耐水化対象施設数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	終末処 理場	改築	阿田和クリーンセンター 長寿命化対策	長寿命化対策 1 式	御浜町	■	■				200		－	
	A07-002	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	－	改築	下水道施設ストックマネ ジメント対策	ストックマネジメント対策 1 式	御浜町	■	■	■	■	■	450		策定済	
	A07-003	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	終末処 理場	新設	阿田和クリーンセンター の耐水化対策	耐水化対策 1 式	御浜町					■	■	60		策定中
	A07-004	下水道	一般	御浜町	直接	御浜町	管渠（ 雨水）	新設	効率的な事業実施のため の基本的な計画策定	検討資料作成 1 式	御浜町					■	■	20		－
											小計							730		
										合計							730			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

御浜町において、目標の達成状況と指標の達成状況を確認。

事後評価の実施時期

令和7年9月

公表の方法

御浜町ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道施設において、長寿命化対策、ストックマネジメント対策、耐水化対策を実施し、下水道施設が一定健全な状況に保たれた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も、効率的・効果的なストックマネジメントの促進を図り、緑に包まれた、優れた自然環境を誇るまちとして、自然と共生する快適で安全な居住環境づくりを進めます。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	改築更新実施済設備数／改築更新対象設備数		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	改築更新実施済設備数／改築更新対象設備数		
	最 終 目標値	60%	
	最 終 実績値	60%	
3	耐水化実施済施設数／耐水化対象施設数		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	